

## 夢実現に向けて ～企画から実践へのワークショップ～

日時 令和6年7月19日(金) 14時～15時30分

場所 くまもと県民交流館パレア 10階会議室7

### 講師紹介

熊本県立大学 名誉教授 森 美智代 先生

1989年3月九州大学大学院経済学研究科博士課程後期単位取得。

1989年4月九州大学経済学部助手。1990年4月徳山女子短期大学専任講師。1993年4月徳山女子短期大学助教授。1994年4月熊本県立大学助教授。1997年12月博士(経済学)取得。1998年8月～1999年9月在外研究フランクフルト大学。2003年4月熊本県立大学教授。現在に至る。「簿記の基礎」他、著書多数。



コミュニティビジネスとは?⇒ 地域の課題に向け住民が主体となり、ビジネスを起ち上げて解決する

#### 1) 行政と住民の協働

1. 行政のイベントと住民参加
2. 「地域おこし協力隊」の募集(総務省)

#### 2) 地域の産物を中心とした地域住民の協力

1. 陶器生産とCAFÉ・レストラン・売店・道の駅への出品等
2. 循環型ビジネス(生産者 ↔ 消費者)



#### 3) 観光への呼び込みの事例

神社等を含め、地域の歴史を背景にビジネス

#### 4) 「道の駅」を中心とした地域ビジネス

高速道路・国道の利用客をターゲットにビジネス⇒地域活性化



#### 5) 外国の人との協力

海外の料理を中心として

### 行政と住民の協働

- ① 災害復興をめざした地域づくり(事例: 山江村役場)
- ② ふるさと納税の返礼品・地域の産物
- ③ 地域おこし協力隊の募集⇒若者・経験を積んだ世代の地域定住
- ④ 空き家・移住などの補助金⇒各自治体での取り組み



### 日本の道路交通との協力が必要ではないか?

- ① パーキングの店内の商品陳列には飽きの気配⇒観光・史跡看板を高速道路から見える所に設置を!(事例: 田原坂の戦い跡地)
- ② インターを降りて、インターに近い「道の駅」に立ち寄る旅行者が増えている(事例: 彼杵の荘)

### 講座の感想

地域おこし事業は先ず何をするのかを決め、企画書を作成し、行政(役所)に提示する。例えば、カフェを開きたいと思っても経験がなければ、残念ながら自分も一步を踏み出す勇気はない。もっと若い人に自治体や政府がセミナー参加等呼びかけて、きっかけ作りを行ってほしい。